

凡例

A: 達成済み
B: 現状の取組を継続して達成見込み
C: 達成には改善が必要
D: 測定不能

▲: 目標通り以上に進捗
●: 目標を下回るが進捗
●: 当初より後退

基本目標1 町民の雇用機会の創出と確保			達成状況	進捗状況	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (目標値)
① 活カと賑わいの産業づくり	第六次産業認定者数	8 働きがいも経済成長も	B	▲	6人	11人	11人	11人	11人		12人
	新商品開発事業に取り組んだ店舗数	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	B	▲	11店舗	10店舗	7店舗	15店舗	19店舗		20店舗
	阿見吉原土地区画整理事業地内分譲済割合		A	▲	62%	73%	100%	100%	100%		85%
② 新たな就業機会の提供	青年就農給付金(経営開始型)支援者数	2 若者の未来に	A	▲	9人	13人	14人	17人	18人		16人
	農業後継者等支援者数	5 ジェンダー平等を推進しよう	A	▲	4人	12人	13人	13人	14人		12人
	従業員30人未満の事業所数	8 働きがいも経済成長も	C	●	1,457所	R2経済センサス結果待ち	R2経済センサス結果待ち	R3経済センサス結果待ち	1,420所		1,486所

	強み (Strength)	弱み (Weakness)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○町内に2か所の圏央道インターチェンジと3箇所の工業団地を有している ○あみプレミアム・アウトレット、予科練平和記念館、霞ヶ浦などの観光資源を有している ○町内に大学・医療機関が集積し、学生が多いまち(海外からの留学生も多い) ○甲子園出場経験のある霞ヶ浦高等学校が立地している ○町の西部地区や阿見吉原地区に良好な住宅地の形成が進んでいる ○町内に2か所のゴルフ場が立地している ○首都圏における人口や産業の受け皿となる都市的土地利用への転換が期待される区域がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○あみプレミアム・アウトレット等の集客を、町内周遊に繋がられていない ○まちの魅力を効果的に発信できていない ○特産品の知名度・PRが不足している ○町内を移動するための公共交通機関が不足している ○最寄りのJR荒川沖駅と町内市街地を結ぶバスの本数が少ない ○町内市街地に集客性のある商業施設が少ない ○ホテル等の宿泊施設が少ない ○若者が楽しめる娯楽施設がない ○東京圏との近接性から、観光地としてのブランドイメージを確立することが難しい
	機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○健康志向の高まり(食、サイクリング、ウォーキング愛好者の増加等) ○東京オリンピックの開催によるインバウンドの増加 ○ふるさと志向の高まり ○都市部に潜在的な地方定住希望者が一定割合存在 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京圏への人口集中の継続 ○大学進学、就職による町外への人口流失(若年女性の転出超過) ○インターネット通販等の普及 ○町外の大規模商業施設への買物客の流出 ○各自治体の類似施策の同時展開が招く没個性

R5 第2回有識者会議のアイデア

- 都市環境
 - ・中根地区、牛久阿見 IC 周辺の開発 ●
- 移住支援
 - ・就農、スマート農業 ●
- 新企画
 - ・二所ノ関部屋(ちゃんこフェス) ●
 - ・農業、野菜の PR ●
 - ・学生、女性の起業 ●
- 都市計画
 - ・駐車場が少ない(南平台)→都市計画を見直す ●
 - ・空きテナント、活用できる土地が少ない(商工) ●

第3期総合戦略 基本目標1

基本目標1

国 地方に仕事をつくる

町第2期 町民の雇用機会の創出と確保

第7次総合計画の施策

- (誇り・愛着) 6111 農業生産性の向上
- 6113 担い手の確保・育成
- (子育て) 6121 商工業観光の充実
- 6122 企業誘致と連携体制の強化 など

総合戦略の進捗状況について

凡例	<p>A:達成済み B:現状の取組を継続して達成見込み C:達成には改善が必要 D:測定不能</p>	<p>▲:目標通り以上に進捗 ▲:目標を下回るが進捗 ▼:当初より後退</p>
----	--	---

基本目標2 町への人の流れをつくる		達成状況	進捗状況	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (目標値)
① 販 ちわ びの りある	霞ヶ浦周辺施設への年間観光客数	C	➡	51,528人/年	44,526人/年	19,512人/年	9,444人/年	35,073人/年		100,000人/年
	新たな地域資源を活用した あみ観光協会主催事業数	A	▲	7件	7件	6件	8件	8件		8件
	阿見観光協会HPの年間アクセス数	C	▲	18,434人/年	16,555件/年	21,830件/年	18,150件/年	21,903件		23,000件/年
	レンタサイクル年間利用者数	C	▲	43人	51人	32人	2人	80人		100人
	ソーシャルメディア等による情報伝達手段数	A	▲	3件	4件	5件	5件	5件		5件
② 町との 縁づくり	ホームページアクセス件数	A	▲	1,118,244 件/年	1,195,738 件/年	1,528,732 件/年	2,160,081 件/年	3,005,642 件/年		1,250,000件/年
	ふるさと納税の寄附件数	A	▲	8件/年	504件/年	2,525件/年	5,528件	8,321件		1,400件/年
③ 移住・ 定住の 促進	女性の純移動数(社会動態)	A	▲	+129人/年	+231人/年	+141人/年	+252人/年	+424人/年		+206人/年
	ソーシャルメディア等による情報伝達手段数 (再掲)	A	▲	3件	4件	5件	5件	5件		5件

第3期総合戦略
基本目標 2

基本目標 2

国
人の流れをつくる

町第 2 期
町への人の流れをつくる

	<p>強み (Strength)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内に3つの工業団地が整備されている(企業数 53 社, うち従業員数 100 人以上 17 社(H30 県誘致企業総覧)) ○あみプレミアム・アウトレットが立地する阿見吉原地区の新市街地の形成が進んでいる ○東京医科大学茨城医療センター(地域医療支援病院), 茨城県立医療大学付属病院が立地している ○陸上自衛隊武器学校等の自衛隊施設が立地している ○意欲のある新規就農者・農業後継者が誕生している 	<p>弱み (Weakness)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○若年女性の流出傾向が強い ○農業者, 地元商工業者の高齢化が進み, 後継者が不足している ○空き店舗が増加している ○耕作放棄地が増加している ○地元商店等の景気回復の遅れ ○公共交通機関が不十分 ○生産年齢人口の減少が続いている
	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○圏央道茨城区間の4車線開通による広域交通利便性の向上 ○成田空港, 茨城空港への近接性 ○最寄りのJR荒川沖駅に特急が停車する ○情報通信技術(ICT)の進展 ○団塊世代の退職による人材供給 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢化の進行による労働力の減少 ○東京圏への労働力の流出 ○国内経済情勢の悪化 ○消費税増税による個人消費の減少 ○大手事業所の再編(移転・撤退・生産体制の再編, リストラ) ○農村の多面的機能の低下 ○食料輸入の拡大

R5 第 2 回有識者会議
のアイデア

- 町のシンボル
 - ・桜 ●
 - ・あみの日 ●
 - ・予科練 ●
- 人材活用
 - ・キモカワキャラクターの開発 ●
- その他の意見
 - ・ふるさと納税の拡充(体験型の返礼品) ●
 - ・阿見に入ってきた工場の立地理由分析 ●

第 7 次総合計画の施策

(誇り・愛着)

- 6131 観光資源の活用と発掘
- 6132 護岸親水ゾーンの整備と活用
- 7131 シティプロモーションの充実
- 7124 自主財源の確保 など

総合戦略の進捗状況について

凡例

A:達成済み
B:現状の取組を継続して達成見込み
C:達成には改善が必要
D:測定不能

↑:目標通り以上に進捗
↓:目標を下回るが進捗
→:当初より後退

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望がない、だれもが活躍できるまちづくり			達成状況	進捗状況	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(目標値)
① 安心して子育てできる環境の充実	保育施設等入所定数	8 働きがいも経済成長も	B	↓	1,146人	1,164人	1,174人	1,156人	1,228人		1,307人
	待機児童数	11 住み続けられるまちづくりを	A	↑	41人	31人	24人	1人	0人		0人
	放課後子ども教室の参加人数	16 平和と公正をすべての人に	A	↑	439人/年	500人/年	389人/年	587人/年	510人/年		510人/年
	放課後児童クラブ入会児童人数	17 パートナシップで目標を達成しよう	B	↓	922人/年	989人/年	958人/年	973人/年	985人/年		1,000人/年
② 結婚・出産・子育て支援の充実	特別保育等の実施事業数	1 貧困をなくそう	A	↑	32事業	33事業	33事業	35事業	38事業		37事業
	生後4ヶ月までの乳児世帯への訪問率	3 すべての人に健康と福祉を	C	→	98.7%	99.0%	97.9%	95.0%	95.1%		98%以上
	妊娠届出時の面談率	4 質の高い医療をみんなに	A	↑	20.4%	100%	100%	100%	100%		100%
	すくすく広場の参加者数	10 人や国の不平等をなくそう	C	→	4,946人/年	4,339人/年	716人/年	886人/年	1,728人/年		7,000人/年
	児童館サークル参加人数(親子)		C	→	5,097人/年	4,676人/年	1,350人/年	2,188人/年	4,048人/年		6,100人/年
③ 誰もが活躍できるまちづくり	男女共同参画社会講演会・講座への参加人数	1 貧困をなくそう	A	↑	740人/年	1,349人/年	338人/年	287人/年	1,052人/年		1,000人/年
	出前講座の実施回数	8 働きがいも経済成長も	C	→	5回/年	7回/年	3回/年	0回/年	3回/年		10回/年

第3期総合戦略
基本目標 3

基本目標 3

国
結婚・出産・子育ての希望をかなえる

町第2期
若い世代の結婚・出産・子育ての希望がないだれもが活躍できるまちづくり

	強み (Strength)	弱み (Weakness)
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○大学・専門学校が立地している ○スポーツ活動が盛んに行われている ○18歳までの医療費無料化、ランドセルの無料配布等の子育て支援施策を実施している ○ふれあい地区館活動をはじめとした生涯学習活動が活発に行われている ○温和な気候に恵まれ、災害が少ない ○地価が近隣市に比べ安い 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの遊び場が少ない ○ワンオペ育児などによる母親の不安感への対応が十分ではない ○子育て情報の発信力が不足している ○核家族の増加によって地域交流の減少がみられる ○町内を移動するための公共交通機関が不足している ○待機児童が解消できていない
	機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児教育・保育の無償化 ○ワーク・ライフ・バランスの推進 ○女性の社会進出が進む ○高齢者等の活躍の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援等の自治体間競争の激化 ○保育人材の不足 ○晩婚化・非婚化の進行 ○高齢者の孤立 ○社会保障費等の増大による財政基盤弱体化 ○出生率の低下

R5 第2回有識者会議
のアイデア

- 新企画
・学生、女性の起業 ●●
- その他の意見
・ネウボラ(フィンランド発の出産・育児支援制度) ●

第7次総合計画の施策

(子育て)
2211 安心して預けられる保育施設やサービスの充実
2214 妊娠期から支援する取組の推進
2212 ニーズに対応する支援体制の充実

(暮らし)
1131 性別に関わりなく活動できる紗愛の実現に向けた取組の強化 など

総合戦略の進捗状況について

凡例	A:達成済み B:現状の取組を継続して達成見込み C:達成には改善が必要 D:測定不能	緑:目標通り以上に進捗 黄:目標を下回るが進捗 赤:当初より後退
----	--	--

基本目標4 住みやすい町を次世代につなぐ		達成状況	進捗状況	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (目標値)
① ふれあい のまちづくり	町民活動センターに登録する市民活動団体数	A	緑	80団体	86団体	94団体	107団体	112団体		90団体
	ふれあい地区館活動の実施行政区数	C	赤	58行政区	51行政区	3行政区	16行政区	17行政区		66行政区
	町民運動会の参加行政区率	D		83.3%	未開催	未開催	未開催			100%
② 快適で住みよい まちづくり	都市計画道路の供用開始率	B	黄	66.4%	68.1%	68.1%	68.1%	68.1%		69.7%
	都市計画における 地区計画決定(変更)の地区数	C	黄	5地区	5地区	5地区	8地区	9地区		13地区
	町民一人あたりの都市公園面積	A	緑	7.6㎡/人	7.9㎡/人	8.0㎡/人	7.9㎡	7.8㎡		7.8㎡/人
③ 暮らし続けた地域で まちづくり	町民協議会の開催	A	緑	1回/年	2回/年	0回/年	0回/年	2回/年		2回/年
	デマンドタクシー「あみまるくん」 の乗降客数	B	黄	10,150人/年	11,729人/年	8,693人/年	9,916人/年	11,306人/年		11,500人/年
	地区防災計画の策定率	C	黄	24%	36%	36%	36%	47%		78%
	公民館・ふれあいセンターの定期講座申込率	C	黄	96%	94%	116%	89%	97%		100%

第3期総合戦略
基本目標4

基本目標4 国
魅力的な地域をつくる

町第2期
住みやすい町を次世代につなぐまちづくり

第7次総合計画の施策

- (暮らし) 1112 地域で活躍する人材の育成
- (誇り・愛着) 3133 ふれあい地区館活動をとらした地域の連携強化
- 3151 ライフステージに対応した生涯スポーツの推進
- 5142 都市計画道路の整備
- (子育て) 5121 市街地開発と都市施設の整備
- 5152 安全で快適な公園・緑地の整備と維持管理
- 5131 公共交通の確保と利便性向上
- 4111 地域防災対策の充実・強化
- 3132 公民館活動の充実と活用など

	強み (Strength) ○東京医科大学茨城医療センター(地域医療支援病院), 茨城県立医療大学附属病院が立地している ○地域コミュニティ活動が活発に行われている ○行政区単位で自主防災組織がある ○霞ヶ浦をはじめとした自然と市街地との調和が保たれている ○スポーツ活動が盛んに行われている ○荒川本郷地区の住宅地等の開発が進んでいる	弱み (Weakness) ○公共施設等の老朽化が進行している ○市街地を結ぶ幹線道路ネットワークが不十分 ○高齢者や障害者等の移動手段の確保が不十分 ○人口増加地区の保育施設等が不足している ○地域コミュニティを支える人材の高齢化が進んでいる ○空き家が増加している ○市街地以外の人口が減少している
	機会 (Opportunity) ○子育て・教育への関心の高まり ○情報通信技術(ICT)の進展 ○インターネットショッピングの浸透 ○安全・安心の意識の高まり ○町民参画・協働の意識の高まり ○地方創生に向けたSDGsの推進 ○Society5.0※の実現に向けた動き	脅威 (Threat) ○若年層の流出による地域コミュニティ活動の衰退 ○若年女性の流出による少子化の進行 ○独居高齢者の地域とのつながりの希薄化 ○福祉人材の不足 ○公共施設等の維持に必要な国庫補助金等の削減

R5 第2回有識者会議のアイデア

- 都市環境
・自動運転バス
・デマンドタクシーの改善
- 人材活用
・場所、施設
・高校生、大学生(サークル活動イベント)
- 都市計画
・調整区域を減らし店舗ができるようにする
- 移住支援
・空き家の提供
・無償の宅地の整備